

樹脂製精密自動車部品メーカーの鈴木化学工業所(本社愛知県幸田町)は、経済産業省の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」と「地域未来牽引(けんいん)企業」に選ばれた。協働ロボットやIoT(モノのインターネット)システムの積極導入、年齢や部署の垣根を超えた交流の活性化などの取り組みが評価された。小幡和史社長に選定への思いと今後の経営方針などを聞いた。(聞き手・小山楓)

— 選定された感想は。
「これまで取り組んでき



「当社の技術をより多くの人に知ってもらいたい」と話す小幡社長
……
す。社員教育にも力を入れている。特に入社1年目の社員については外部の教育機関で研修を行い、1年かけて社内全部署の仕事を学び、1年後に正式に配属を決定する。その成果もあって、過去10年間で入社3年以内の離職率ゼロを達成

「さらに、新たな取り組みとして当社の溶着技術を生かした製品『十年急須』を開発した。樹脂製のため、軽くて割れにくく、二重構造で保温性を高めた。新型コロナウイルスの影響によって、自宅で過ごす時間が増える中、おうち時間をより快適にするアイテムとして提案していきたい」

570
「疲弊を立

「はばたく」「未来牽引」をW受賞

一般向け新製品で技術力発信も

たことを評価していただき感謝している。地元をけん引する企業として、期待を込めて選んでいただいたことを誇りに思い、より一層精進していきたい」

みは。 — 力を入れている取り組みは。

「生産の現場では、人とともに働けるロボットの導入や、組み付け工程におけるIoTシステムの導入によって生産性向上を目指

として地元の小学校で租税教室を開いたり、登下校の際の交通安全運動に参加したりと精力的に活動している。地元企業として地域の皆さんとも積極的に交流していきたい」

鈴木市長
鈴木市長
屋支店長

鈴木化学工業所社長 小幡 和史氏

(おばた・かずふみ)



信金中央金庫【創立70周年記念事業】地域創生
「SCBふるさと応援隊」にかかる寄附金贈呈式

中小企業のキャッシュレス